

2. 情報学部で学ぶみなさんへ

東北学院大学情報学部は2023年4月に開設となりました。このなかにデータサイエンス学科を有する1学部1学科となりました。データサイエンスとは、社会や自然にある様々な問題を解決するために、課題を抽出し、データの収集・分析を行い、課題解決のための提案を行って、社会に新たな価値を提供する学問領域です。そのため、データサイエンスでは、文理が融合した広い視野を持つことが必要となります。4年間でどのような特徴的な学びに出会えるのか、また学ぶ科目やその内容がどのようなものか、これらについてここで簡単に説明して行きたいと思います。

最初に、どのような特徴的な学びに出会えるのかについて説明します。情報学部データサイエンス学科では、幅広い基礎知識・文理双方の視野を身につけ、データサイエンスの知識を習得し、社会に応用できる能力を磨きます。その第一歩として、1年生前期に「フレッシュパーソンセミナー」を全員が受講します。データサイエンスの素養を身につけるためには、統計学やプログラミング、社会調査法や経営学の基礎をはじめ、さまざまな科目を学ぶことで視野を広げていく必要があります。また、机上の学問として学ぶだけでなく、それが社会でどのように応用されるのかを理解しなくてはなりません。3・4年生では「情報と地域連携」「情報サービスとIoT」「情報と防災・福祉」などの科目を通して、社会とのかかわりも学ぶことになります。学習領域が広いので、系統立てた学びを進めるためには、早い段階である程度「軸」を定める必要があります。「フレッシュパーソンセミナー」では、学科カリキュラムの全体構造を理解した上で、1年生から4年生までの設置科目と科目同士の関係性を具体的に見ていきます。4年間のカリキュラムを見渡すことで、学びの意義を早い段階で理解し、自分なりの方向性を見つけることを目指します。そして目標実現に必要な知識とスキルを身につけられるよう、学びの組み立てを考えます。

次に、学ぶ科目やその内容がどのようなものかについて説明します。4年間でどのような科目を学ぶことができるのか、またそれぞれの科目の内容はどのようなものを知るための重要なものがこのホームページにあるシラバスです。シラバスにたくさんの情報が含まれているため、最初から最後まで短時間で読むのは大変です。ここでは、みなさんが時間割を作成する際に重要となる部分について説明したいと思います。「12. 東北学院大学学事暦」には、みなさんの1年間のスケジュールが記載されています。この学事暦から、前期および後期はいつ始まっていつ終わるのか、夏休み・冬休み・春休みの期間、学園祭の日などがわかります。「18. 学科課程（カリキュラム）・カリキュラムマップ」には、1年生から4年生までのどのような科目を学ばなければならないのか、学ぶことができるのかについて詳しく記載されています。この学科課程表を見ながら、時間割を組み立ててゆきます。しかし、この学科課程表の情報からだけでは時間割作成は難しいため、新入生のみなさんについては、4月の授業開始前にオリエンテーションが開催され、時間割作成について、より詳しく具体的に説明してもらえますので、安心してください。この学科課程表に記載されている科目をすべて学ぶわけではなく、必修科目以外は、学びたい科目を選択して学びます。卒業するために必要な学びの条件が、学科課程表の最後のページに記載されています。学科課程表には、科目名だけが記載されていて、具体的な内容が記載されていません。具体的に学ぶ内容を知りたい場合には、シラバスのホームページの上部に「検索フォーム」がありますので、学科課程表を見ながら科目名などを入力して検索すると、具体的な内容を見ることができます。中学校や高等学校の教員の免許を取得したい場合には、「19. 講義内容」にある「(3). 教職課程」を開くと、詳しい説明があります。

情報学部データサイエンス学科でみなさんが有意義に効果的に学ぶために、このシラバスをいつも参考にしながら、4年間の学びをひとりひとり進めてください。



情報学部長

伊藤 則之